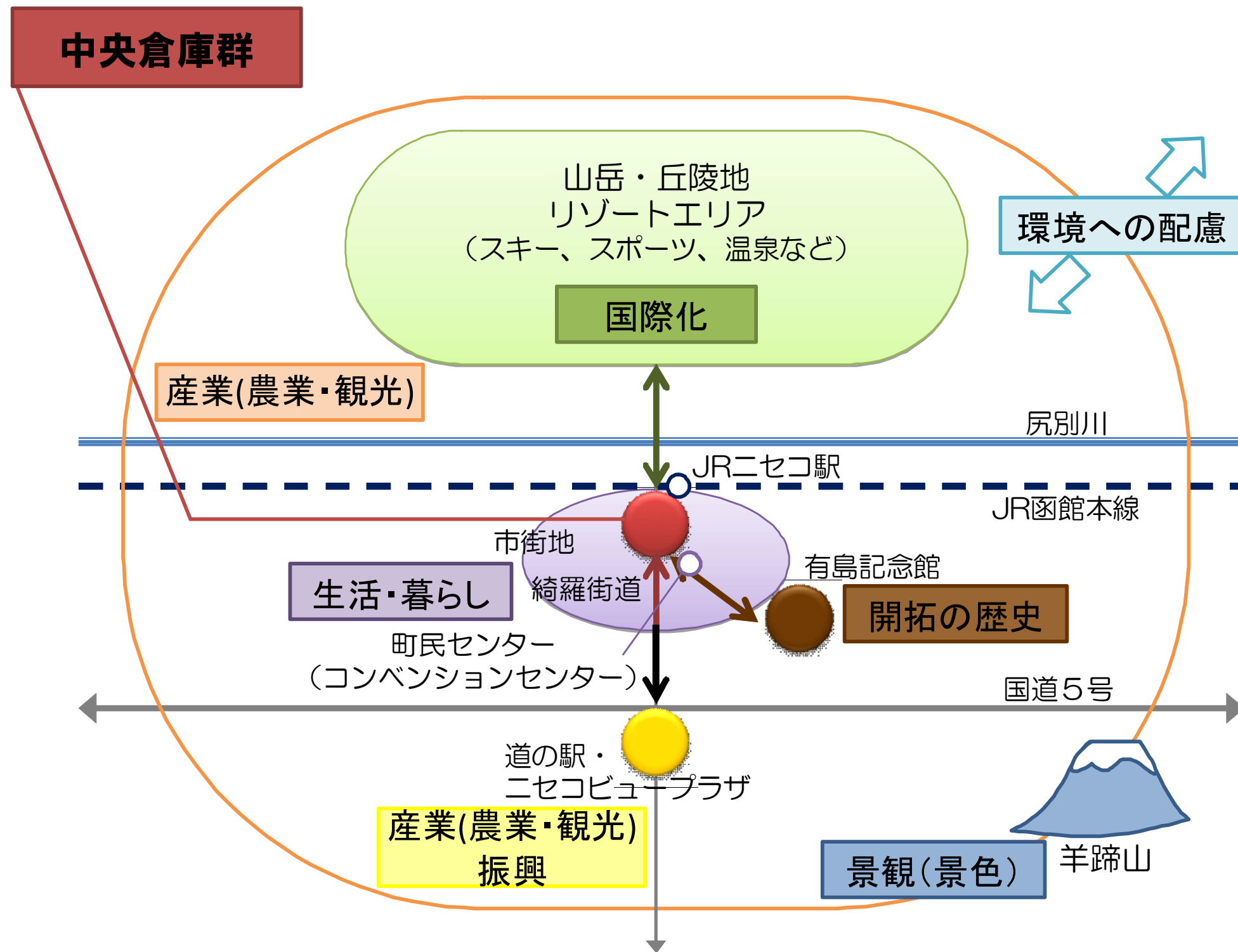
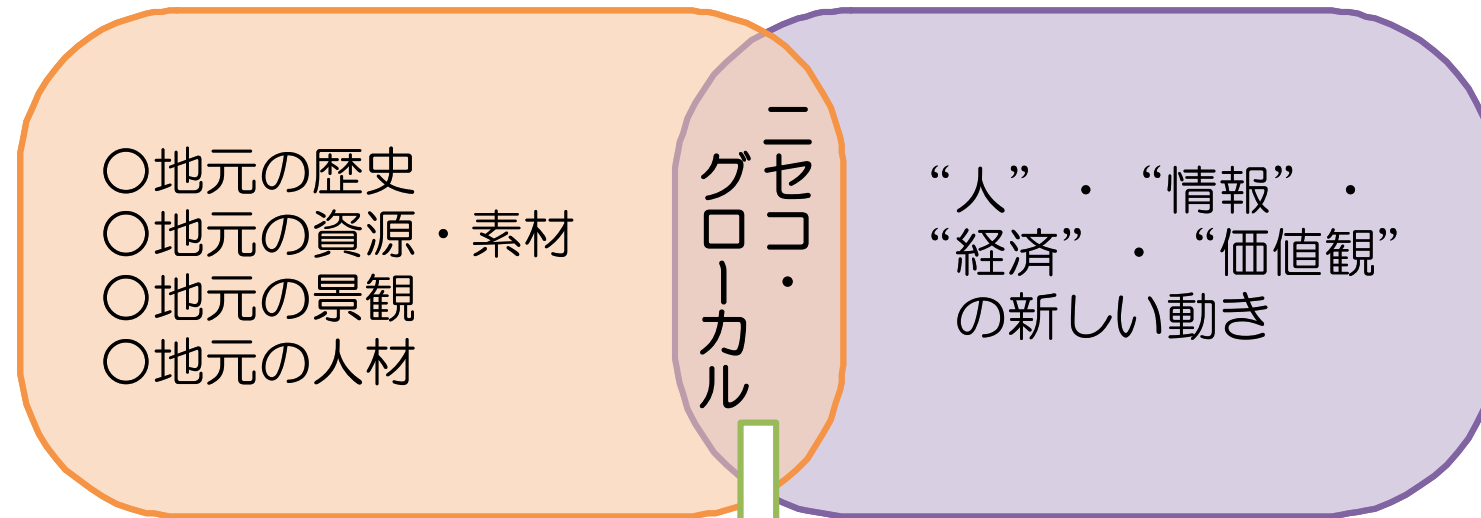


ニセコ町全体における中央倉庫群の位置づけ(案)



中央倉庫群の取り組みの方向性(案)



重なり部分を「中央倉庫群」で形にする

地元に根ざし、
時を積み重ねてきた空間で創造する
今のニセコ・これからのニセコ！！

『求心力(集まる人・モノ・情報)』を
『遠心力』(外への散開、波及、発信)』へと
変換する大きな装置、新しいシステム

■中央倉庫群の取組みの展開方針と基本機能（案）



基本機能スペース(案)

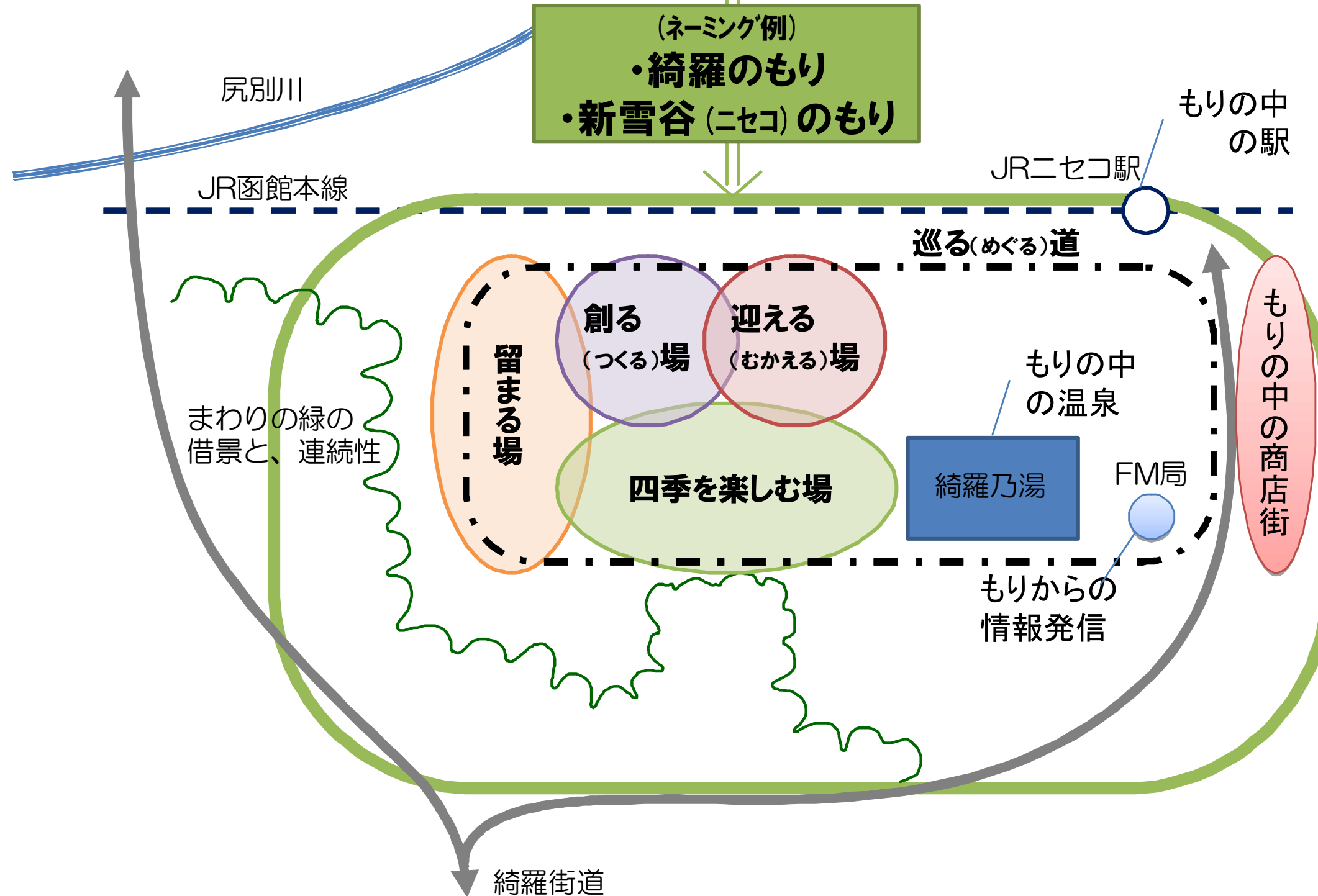
- 地域の歴史・文化や「農と食」などをテーマにしたニセコの紹介スペース
- 地場農産物の加工・実習体験・提供スペース
- 地場農産物の貯蔵・熟成スペース
- 多世代コミュニティスペース(団らん・憩い)
- 屋外交流・憩いのスペース
- 子どもの遊びスペース
- 暮らしの情報受発信スペース(趣味、商店、雇用、生活等)
- 観光情報案内スペース(町内～広域)
- 情報交流スペース(口コミ交流など)
- 多目的活動スペース
- 音楽ホール・小劇場、講演会などのイベントスペース
- 展示ギャラリースペース
- ものづくり工房スペース
- チャレンジショップ・アンテナショップ等の試行スペース
- スポーツ&レクリエーションスペース
- 倉庫群全体の運営管理主体事務局の活動スペース
- など

場づくりの方針(案)

みんなが集う駅前の“もりづくり”

(ネーミング例)

- ・綺羅のもり
- ・新雪谷(ニセコ)のもり



中央倉庫群ゾーニング（活用例）： “これまでの検討による基本機能の想定” と “建物の物理的要件（耐震性、耐久性、法的規制条件等）から想定” される現段階での各建物の活用例

■ でんぷん工場：昭和32年築 木造一部2階建

- ・外観・内部空間的に最も特徴があり、倉庫群のシンボリックな存在となり得る建物
- ・木造建築を活かして、比較的柔軟な空間構成が可能
- ※「社会実験」においても空間の魅力と多様な活用の可能性が検証された

倉庫群の中核施設（運営拠点）

- ①情報受発信・共有、インフォメーション
～ニセコ及び倉庫群などの地元インフォメーション機能
- ②展示・ギャラリー、講演会・コンサート
～ニセコ町の開拓、農業の歴史の紹介・展示
～作品等の展示・ギャラリー
～ギャラリーとカフェ全体を利用した講演会・コンサート
（最大120～150名程度まで利用）
- ③幼児プレイルーム
～冬期間や雨天でも遊べるスペース
- ④地元産物の利用促進、地産地消
～ニセコ地場食材を使った料理の提供機会
～地域食堂（コミュニティレストラン）
～調理室
- ⑤交流、口コミ情報交換、くつろぎの場（時間を過ごす場）
～コミュニティカフェ、カフェ個室（8名程度）→カフェ厨房
～ネットカフェ
- ⑥団体・コミュニティ活動
～団体活動室（会議室）
- ⑦トイレ（男・女・多目的）
- ⑧その他（器具庫・機械室）

■ 1号倉庫：昭和6年築 木骨石造

- ・木骨石張建物で、倉庫群として特徴的な景観を形づくる中心的な建物
- ・構造・空間的な特徴を活かしながら価値の高い活用を目指す
- ※次年度の詳細調査によって既存木骨が構造体力を保持しない場合、新たな木造構造柱・梁や鉄骨柱・梁による建物全体の補強が必要

石の壁の落ち着いた雰囲気の間を活かしたホールとして利用
（最大250名程度まで利用）

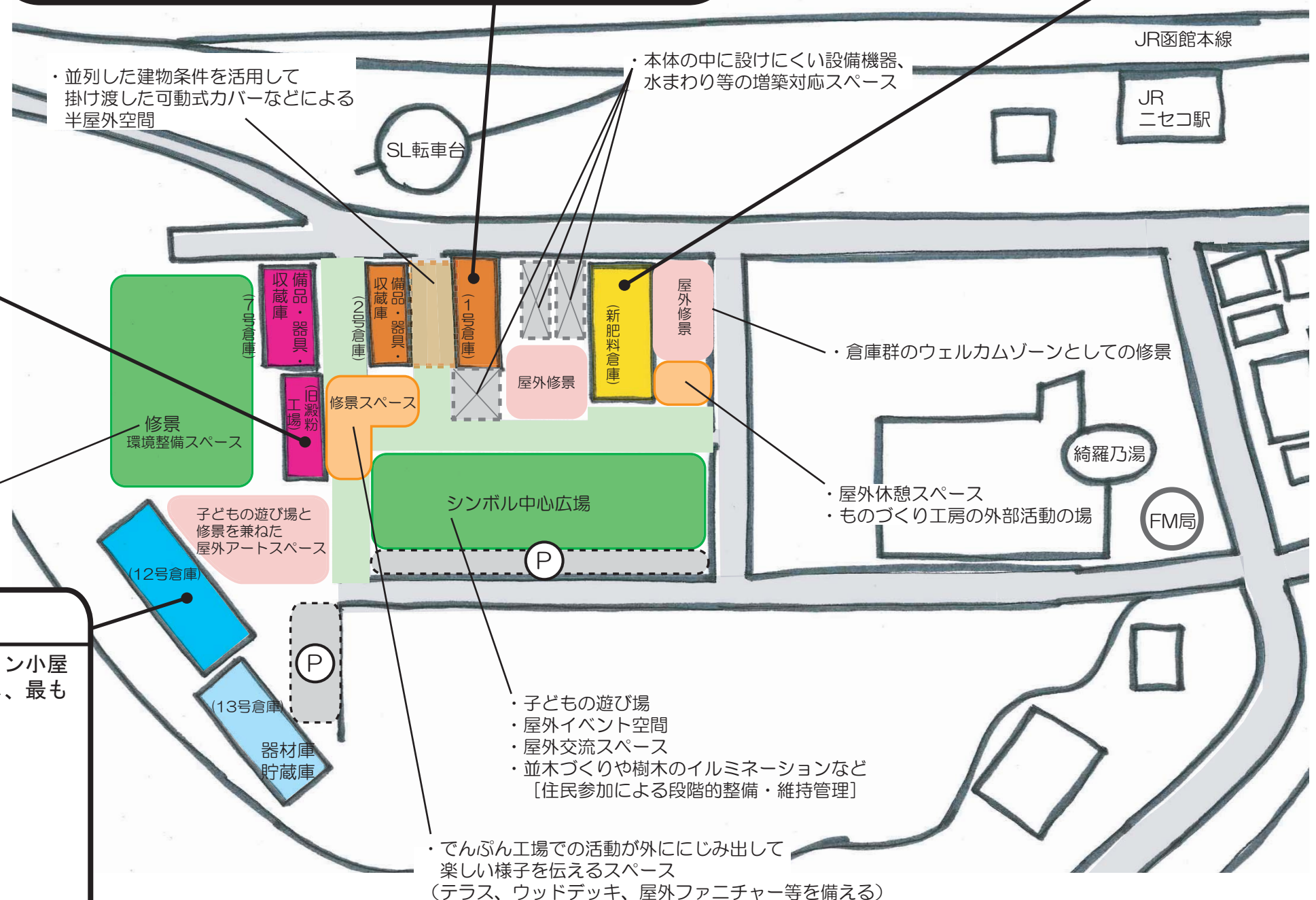
- ①音楽コンサート・演劇、練習会場
- ②講演会、シンポジウム会議・研修会
- ③ギャラリー、展示会
- ④パーティー、結婚式

■ 新肥料倉庫：昭和57年築 木造布基礎（RC造有筋）

- ・構造的な補強規模が7棟の中で最も小さく、比較的大きな室内空間を有効活用できる建物

ものづくり工房群として、ブース単位の工房・ショップ・教室等と通り抜け型の路地的なイメージの空間づくり

- ①チャレンジ工房、チャレンジショップ
- ②地元店舗、アーティストのアンテナショップ
- ③地元アーティスト等による来訪者向け体験工房・教室



・背後の斜面地形を活かし、ニセコの風土や気候にあった植物による修景と維持管理
〔住民参加による取組〕

■ 12号倉庫：昭和44年築 鉄骨造

- ・鉄骨造の構造補強と劣化防止を行うことで、鉄骨山形ラーメン小屋梁により屋根を支える大きなトラス架構がない特性を活かし、最も室内高さが高い大空間を確保できる建物

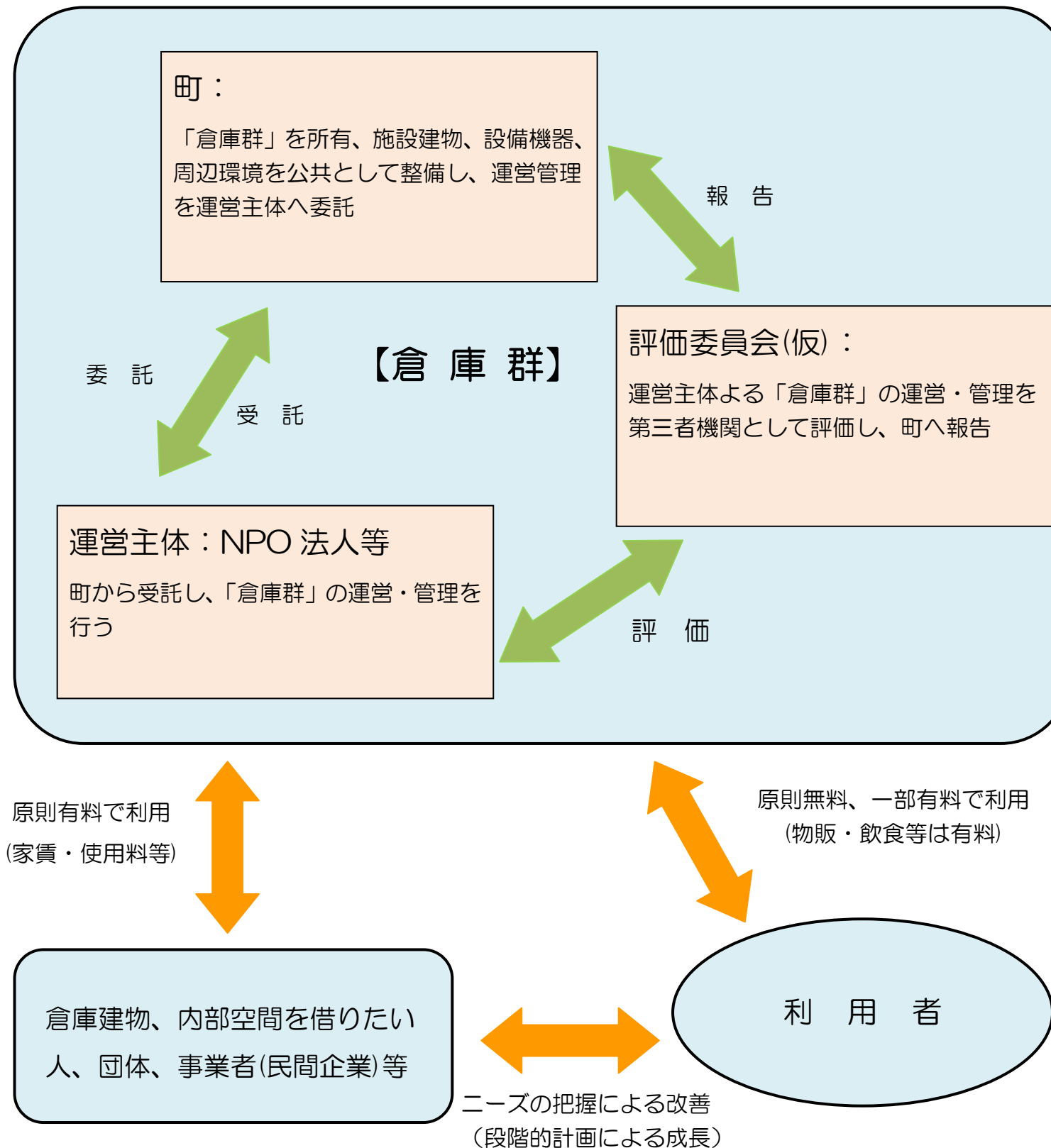
大空間を必要とするスポーツを中心とした活用

- ①室内イベント利用
- ②スケートボード、インラインスケート
- ③マウンテンバイク
- ④ウォームクライム
- ⑤室内ウォーキングコース など

- ・子どもの遊び場
- ・屋外イベント空間
- ・屋外交流スペース
- ・並木づくりや樹木のイルミネーションなど
〔住民参加による段階的整備・維持管理〕

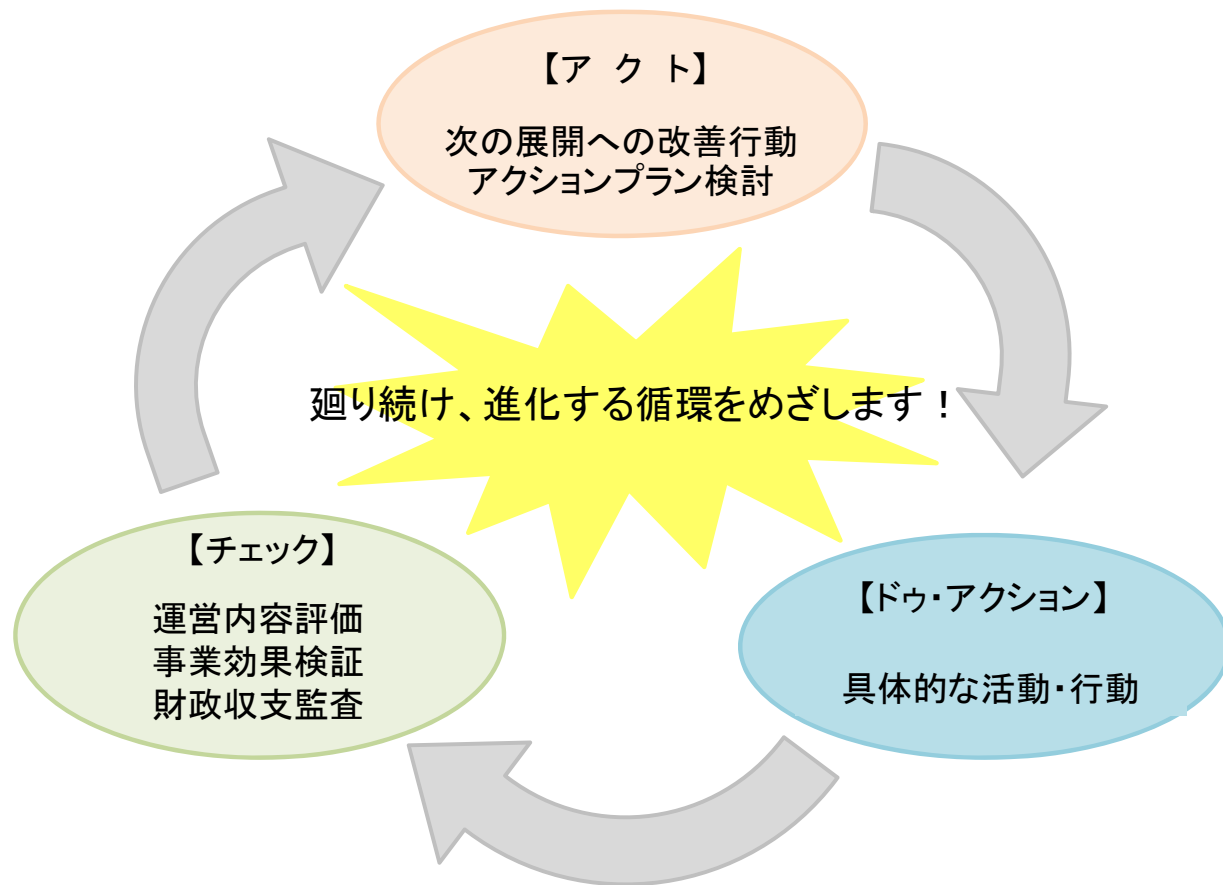
・でんぷん工場での活動が外ににじみ出して
楽しい様子を伝えるスペース
（テラス、ウッドデッキ、屋外ファニチャー等を備える）

■想定される運営の形態(案)

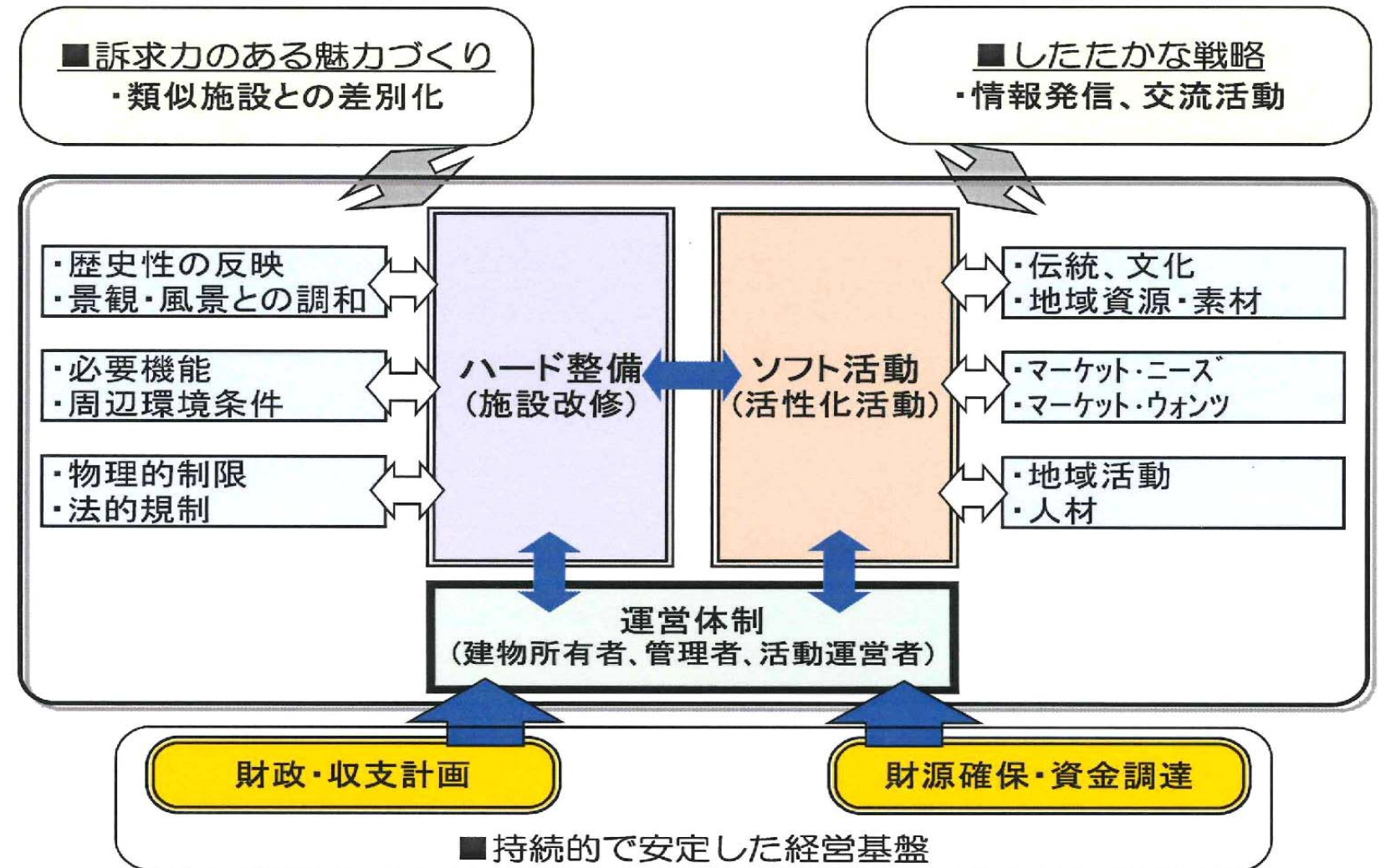


■事業の進め方（案）： ～プロセスプランニング～

進化する中央倉庫群



実現可能で持続性ある倉庫群再活用のプログラム



■運営に必要なルール(例)

～意見交換会の意見を基にした例～

*運営主体に拘わらず、守らなければならないルールとして・・・

倉庫群活用憲章 10カ条 (例)

1. ニセコらしさにこだわる。(?)
2. 地域の歴史を語る倉庫群の雰囲気を生かす。(?)
3. ニセコの資源や素材、技術、人材等を活用する。(?)
4. 活動の主体者はニセコ住民とする。(?)
5. 地域の活性化や雇用の促進に役立つ。(?)
6. 人と人、他の団体、他の施設などとの絆を大切にする。(?)
7. 出来ることから始め、少しずつ「進化する倉庫群」をめざす。(?)
8. 身の丈にあった運営・活用を心がけ、自活をめざす。(?)
9. 住民も来訪者、観光客も、すべての世代が集い、楽しめる。(?)
10. 既存概念にとらわれずに新しい挑戦をし続ける。(?)

*ルールの優先順位はどうするか・・・?